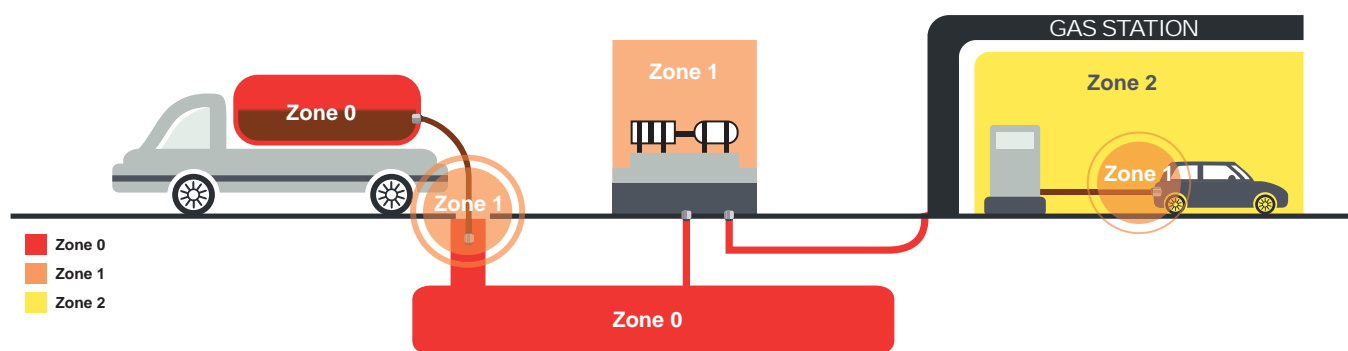


# 防爆技術資料

## 危険場所の区分

Zone 0 (0種場所)	危険雰囲気継続的、または長期間存在する場所をいい、容器の内部装置や配管内部などの場所や、引火性または可燃性液体が存在するPIT内部
Zone 1 (1種場所)	常用状態で危険雰囲気が存在しやすい場所をいい、0種場所の近接周辺、送給筒口の隣接周辺
Zone 2 (2種場所)	異常状態で危険雰囲気が短時間の間存在する場所
Zone 20	通常の作動中、粉塵が空気と混合し、爆発濃度を形成する程度の十分な量の粉塵雲が連続、また頻繁に生成されたり、調節できないほどの過剰な粉塵層が形成する地域
Zone 21	通常の運転取扱いやメンテナンスの過程などで、粉塵が爆発濃度を形成する程度に粉塵雲の形態が生成されたり、生成する恐れがある地域のうち、0種場所ではない地域
Zone 22	粉塵雲がまれに短期間に生成されたり、異常状態で危険雰囲気を生成する粉塵蓄積物や粉塵層が存在する地域のうち、1種場所に区分されていない地域



<危険場所の区分表記>

区分	IEC	NEC500	JIS、KS
継続的な危険雰囲気 (通常、年間1,000時間以上)	Zone 0 Zone 20(DUST)	Division 1	0種場所
通常状態での断続的な危険雰囲気 (年間10~1,000時間)	Zone 1 Zone 21(DUST)		1種場所
異常状態での危険雰囲気 (年間0.1~10時間)	Zone 2 Zone 22(DUST)	Division 2	2種場所

## Zone別の使用可能製品

Zone区分	製品名
Zone 1	SNE、SEA、SE、SSEL、SESA、SEBA、SNES、SPNA、QEB、SBE130、SBE150、QEAL1、QEAL2、QTEX、QTEXB
Zone 2	SNE、SEA、SE、SSEL、SESA、SEBA、SNES、SPNA、QEB、SBE130、SBE150、QEAL1、QEAL2、QTEX、QTEXB、ST45ML-Ex、STB45ML-Ex